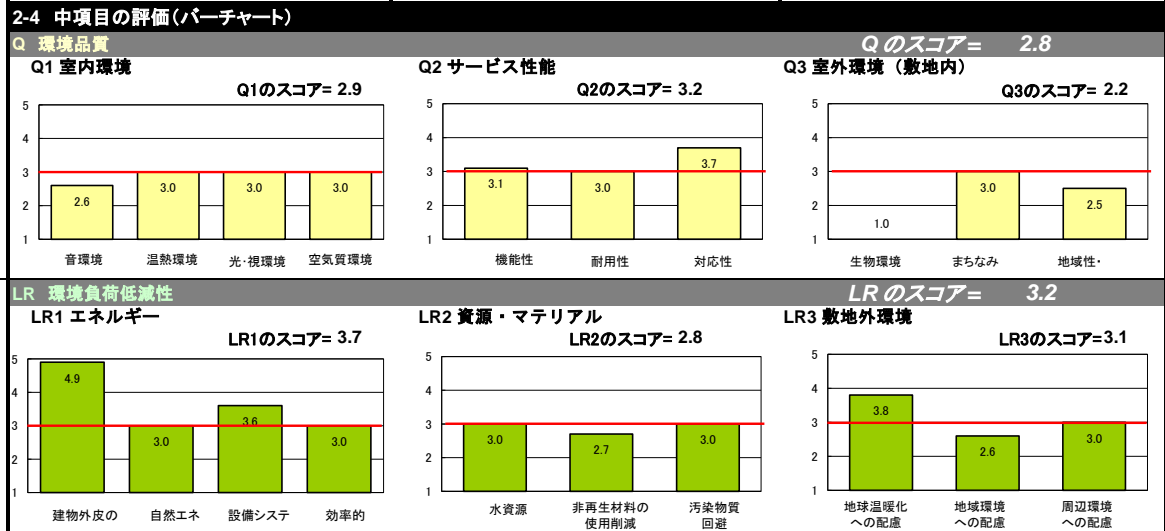
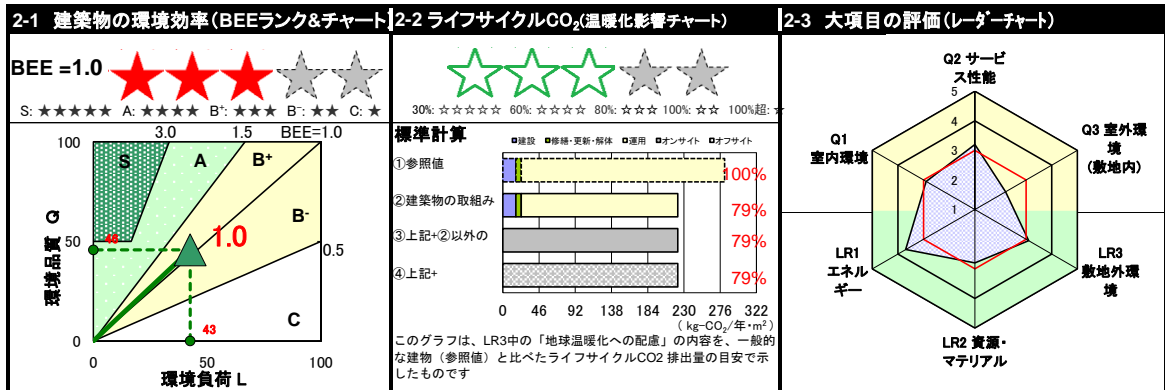


# CASBEE あいち

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)\_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)マックスパリュ大府横根店	階数	地上1階
建設地	愛知県大府市横根町午池35-1他48筆	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	559 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2024年3月 予定	評価の実施日	2023年7月 日
敷地面積	9,981 m <sup>2</sup>	作成者	鍋倉健哉
建築面積	2,837 m <sup>2</sup>	確認日	2023年7月12日
延床面積	2,723 m <sup>2</sup>	確認者	西井信幸



### 3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p>3.8</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p>1.0</p> <table border="1"> <tr><td>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</td><td>7.6 %</td></tr> <tr><td>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</td><td>0.0 %</td></tr> </table>	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	7.6 %	建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	0.0 %
外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	7.6 %				
建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	0.0 %				
<h4>②資源の有効活用</h4> <p>3.0</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p>1.0</p> <p>&lt;外装材に使用した地域性のある材料&gt; なし</p> <p>&lt;建物の構造材・内装材・外構に使用した地域性のある素材&gt; なし</p>				

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
LR-3 1 地球温暖化への配慮  
②資源の有効活用  
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
LR-2 2 非再生性資源の使用削減  
③敷地内の緑化  
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き  
 (仮称)マックスパルク大府横根店

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)\_AICHI

スコアシート		実施設計段階		独自基準		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点項目	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	全体	
<b>Q 建築物の環境品質</b>												<b>2.8</b>
<b>Q1 室内環境</b>												<b>2.9</b>
<b>1 音環境</b>												<b>2.6</b>
1.1 室内騒音レベル		0.1	2.6	0.15	-	-	-	-	-	-	-	2.6
1.2 遮音		3.0	3.0	0.40	-	-	-	3.0	-	-	-	-
1.2.1 開口部遮音性能		0.4	3.0	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-
1.2.2 1 開口部遮音性能		-	3.0	1.00	-	-	-	3.0	-	-	-	-
1.2.2 2 界壁遮音性能		-	3.0	-	-	-	-	3.0	-	-	-	-
1.2.2 3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	3.0	-	-	-	-	3.0	-	-	-	-
1.2.2 4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	3.0	-	-	-	-	3.0	-	-	-	-
1.3 吸音		-	1.0	0.20	-	-	-	3.0	-	-	-	-
<b>2 温熱環境</b>												<b>3.0</b>
2.1 室温制御		0.3	3.0	0.35	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1.1 室温		0.5	3.0	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1.2 1 室温		3.0	3.0	0.50	-	-	-	3.0	-	-	-	-
2.1.2 2 外皮性能		3.0	3.0	0.17	-	-	-	3.0	-	-	-	-
2.1.2 3 ゾーン別制御性		3.0	3.0	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
2.2 湿度制御		3.0	3.0	0.20	-	-	-	3.0	-	-	-	-
2.3 空調方式		3.0	3.0	0.30	-	-	-	3.0	-	-	-	-
<b>3 光・視環境</b>												<b>3.0</b>
3.1 昼光利用		0.2	3.0	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1.1 昼光率		0.5	3.0	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1.2 1 昼光率		3.0	3.0	-	-	-	-	3.0	-	-	-	-
3.1.2 2 方位別開口		-	-	-	-	-	-	3.0	-	-	-	-
3.1.2 3 昼光利用設備		3.0	3.0	1.00	-	-	-	3.0	-	-	-	-
3.2 グレア対策		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.1 1 昼光制御		5.0	2.0	-	-	-	-	3.0	-	-	-	-
3.3 照度		3.0	3.0	-	-	-	-	3.0	-	-	-	-
3.4 照明制御		3.0	3.0	0.50	-	-	-	3.0	-	-	-	-
<b>4 空気質環境</b>												<b>3.0</b>
4.1 発生源対策		0.2	3.0	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
4.1.1 発生源対策		0.5	3.0	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
4.1.1.1 1 化学汚染物質		3.0	3.0	1.00	-	-	-	3.0	-	-	-	-
4.2 換気		0.3	3.0	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-
4.2.1 換気		3.0	3.0	0.50	-	-	-	3.0	-	-	-	-
4.2.1.1 1 換気量		3.0	3.0	-	-	-	-	3.0	-	-	-	-
4.2.1.1 2 自然換気性能		3.0	3.0	-	-	-	-	3.0	-	-	-	-
4.2.1.1 3 取り入れ外気への配慮		3.0	3.0	0.50	-	-	-	3.0	-	-	-	-
4.3 運用管理		0.2	3.0	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
4.3.1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	3.0	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
4.3.2 喫煙の制御		3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>Q2 サービス性能</b>												<b>3.2</b>
<b>1 機能性</b>												<b>3.1</b>
1.1 機能性・使いやすさ		0.4	3.1	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-
1.1.1 機能性・使いやすさ		0.4	3.0	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-
1.1.1.1 1 広さ・収納性		3.0	3.0	-	-	-	-	3.0	-	-	-	-
1.1.1.1 2 高度情報通信設備対応		3.0	3.0	-	-	-	-	3.0	-	-	-	-
1.1.1.1 3 バリアフリー計画		3.0	3.0	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
1.2 心理性・快適性		0.3	3.3	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-
1.2.1 心理性・快適性		3.0	5.0	0.33	-	-	-	3.0	-	-	-	-
1.2.1.1 1 広さ感・景観 (天井高)		3.0	5.0	0.33	-	-	-	3.0	-	-	-	-
1.2.1.1 2 リフレッシュスペース		3.0	2.0	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
1.2.1.1 3 内装計画		3.0	3.0	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3 維持管理		0.3	3.0	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計		3.0	3.0	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保		3.0	3.0	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>2 耐用性・信頼性</b>												<b>3.0</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振		0.4	3.0	0.48	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1.1 耐震・免震・制震・制振		0.4	3.0	0.48	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1.1.1 1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	3.0	0.80	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1.1.1 2 免震・制震・制振性能		3.0	3.0	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数		0.3	3.3	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
2.2.1 部品・部材の耐用年数		-	3.0	0.23	-	-	-	-	-	-	-	-
2.2.1.1 1 躯体材料の耐用年数		-	3.0	0.23	-	-	-	-	-	-	-	-
2.2.1.1 2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		-	4.0	0.23	-	-	-	-	-	-	-	-
2.2.1.1 3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		-	4.0	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-
2.2.1.1 4 空調換気ダクトの更新必要間隔		-	3.0	0.08	-	-	-	-	-	-	-	-
2.2.1.1 5 空調・給排水配管の更新必要間隔		-	3.0	0.15	-	-	-	-	-	-	-	-
2.2.1.1 6 主要設備機器の更新必要間隔		-	3.0	0.23	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4 信頼性		0.1	2.8	0.19	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.1 信頼性		3.0	3.0	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.1.1 1 空調・換気設備		3.0	3.0	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.1.1 2 給排水・衛生設備		3.0	3.0	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.1.1 3 電気設備		3.0	3.0	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.1.1 4 機械・配管支持方法		3.0	3.0	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.1.1 5 通信・情報設備		3.0	2.0	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-

<b>3 対応性・更新性</b>				0.2	3.7	0.29	-	-	-	3.7
3.1 空間のゆとり				0.3	5.0	0.31	-	-	-	
1 階高のゆとり			売場の天井高3.90m	-	5.0	0.60		3.0	-	
2 空間の形状・自由さ			壁長さ比率=0.08	3.0	5.0	0.40		3.0	-	
3.2 荷重のゆとり				3.0	3.0	0.31		3.0	-	
3.3 設備の更新性				0.3	3.2	0.38		-	-	
1 空調配管の更新性		②		-	3.0	0.17		-	-	
2 給排水管の更新性				3.0	3.0	0.17		-	-	
3 電気配線の更新性				3.0	3.0	0.11		-	-	
4 通信配線の更新性				3.0	3.0	0.11		-	-	
5 設備機器の更新性			売場の冷蔵ケース・冷凍ケースはバスダクト接続	3.0	4.0	0.22		-	-	
6 バックアップスペースの確保				3.0	3.0	0.22		-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>					-	0.30		-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出		独自③		-	1.0	0.30		-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④		-	3.0	0.40		-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	2.5	0.30		-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④		-	3.0	0.50		-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				-	2.0	0.50		-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>					-	-		-	-	3.2
<b>LR1 エネルギー</b>					-	0.40		-	-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI=0.81	3.0	4.9	0.30		-	-	4.9
2 自然エネルギー利用				3.0	3.0	0.20		-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI=0.77	3.0	3.6	0.30		-	-	3.6
4 効率的運用				0.2	3.0	0.20		-	-	3.0
集合住宅以外の評価				1.0	3.0	1.00		-	-	
4.1 モニタリング				3.0	3.0	0.50		-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	3.0	0.50		-	-	
集合住宅の評価				-	-	-		-	-	
4.1 モニタリング				-	3.0	-		-	-	
4.2 運用管理体制				-	3.0	-		-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>					-	0.30		-	-	2.8
1 水資源保護				0.1	3.0	0.15		-	-	3.0
1.1 節水				3.0	3.0	0.40		-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				0.6	3.0	0.60		-	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	3.0	0.67		-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	3.0	0.33		-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				0.6	2.7	0.63		-	-	2.7
2.1 材料使用量の削減				-	2.0	0.07		-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				-	3.0	0.25		-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②	-	-	3.0	0.21		-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自	-	3.0	1.0	0.21		-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	-	-		-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自	構造躯体と仕上材は容易に分離可能	3.0	4.0	0.25		-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				0.2	3.0	0.22		-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			全てF☆☆☆☆を使用	3.0	3.0	0.32		-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				0.6	3.0	0.68		-	-	
1 消火剤				-	-	-		-	-	
2 発泡剤(断熱材等)				-	3.0	0.50		-	-	
3 冷媒				3.0	3.0	0.50		-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>					-	0.30		-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		①	ライフサイクルCO2排出率79%	-	3.8	0.33		-	-	3.8
2 地域環境への配慮				0.3	2.6	0.33		-	-	2.6
2.1 大気汚染防止				-	3.0	0.25		-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				-	2.0	0.50		-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				0.2	3.5	0.25		-	-	
1 雨水排水負荷低減		独自		-	3.0	0.25		-	-	
2 汚水処理負荷抑制				-	3.0	0.25		-	-	
3 交通負荷抑制		独自	大規模小売店舗立地法の基準を適用	-	5.0	0.25		-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制				-	3.0	0.25		-	-	
3 周辺環境への配慮				0.3	3.0	0.33		-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				0.4	3.0	0.40		-	-	
1 騒音		独自		-	3.0	1.00		-	-	
2 振動		独自		-	-	-		-	-	
3 悪臭				-	-	-		-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				0.4	3.0	0.40		-	-	
1 風害の抑制				-	3.0	0.70		-	-	
2 砂塵の抑制				-	3.0	-		-	-	
3 日照阻害の抑制				-	3.0	0.30		-	-	
3.3 光害の抑制				0.2	3.0	0.20		-	-	
1 屋外照明及び室内照明のうち外に漏れる光への対策				-	3.0	0.70		-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				-	3.0	0.30		-	-	

**重点項目スコアシート**

(仮称)マックスバリュエ大府横根店

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)\_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>3.8</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.8	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>3.0</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.7	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.7	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>1.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:7.6%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>			(評価ポイント)	<b>1.0</b>
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用  $\frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{重みの総和}}$

重点項目スコア=

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

## ■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)マックスバリュ大府横根店

計画上の配慮事項	
総合	大型物販店舗のマーケットを設けるにあたり、既存の環境を尊重して、騒音、交通、景観等に配慮した。
Q1 室内環境	風や粉塵を制御できるように風除室を設け、出入口は遮蔽性の高いサッシとし、用途上支障の無い空間となるよう配慮した。
Q2 サービス性能	バリアフリー法及び人にやさしい街づくり条例の条件の適合させており、かつ、3.9Mの天井の売場を明度の高い仕上げとすることで、開放的な空間となるように配慮した。 浸水被害等もしもの時を想定し、主要な設備機器は屋上に設置した。
Q3 室外環境(敷地内)	周辺のまちなみや景観に対する配慮を行った。
LR1 エネルギー	環境負荷軽減に配慮した機器選定を行った。
LR2 資源・マテリアル	内装材にはF☆☆☆☆使用し、有害物質の拡散防止に配慮した。また、外壁をサイディング(窯業系、鋼製)、構造を鉄骨造とし、解体時に分離し易い構造とした。衛生設備には節水型を採用した。
LR3 敷地外環境	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。